

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会

2016年度第2回常任幹事会議事要録

日時：2016年12月9日（金） 14時～16時35分

場所：名古屋学院大学 名古屋キャンパス 希館511会議室

出席：中部大学（蓑島 智子）、愛知大学（中村 直美、島田美津穂）、
名古屋女子大学（尾崎 友子）、同朋大学・名古屋造形大学（沖 忠雄）、
愛知学院大学（足立 祐輔、藤岡 聖子）、中京大学（渡辺 英二）、
名城大学（皆見 司朗）、日本福祉大学（石川 宗臣）、
南山大学（関谷 治代、牧野多完子）、
名古屋学院大学（三井 哲、中田 晴美、矢澤めぐみ）

敬称略

議事に先立ち、理事校名古屋学院大学学術情報センター長（三井）の挨拶があった。議事進行は議長として選出された同センター長（三井）が担当し、理事校（中田）より東海地区大学図書館協議会運営委員校が名古屋女子大から南山大学に変更になった旨報告があり、出席者の自己紹介の後、下記の議題を協議した。

〔報告事項〕

1. 協会関係

理事校名古屋学院大学（中田）より資料(p.1～2)に基づき、東西合同役員会、2016年度総会・研究大会について報告があった。

2. 西地区部会関係

理事校（中田）より資料(p.3～4)に基づき、西地区部会総会、役員会、運営委員会ならびに研究会について報告があった。

なお、役員会は年3回開催していたが、来年度から9月は開催せず、6月と3月の年2回開催とすることが了承されたとのことである。

3. 委員会関係

(1) 協会賞審査委員会

協会賞審査委員会委員校愛知学院大学（足立）より資料(p.5)に基づき委員会の報告があった。現在協会賞の募集中であり、推薦をお願いしたいとのことである。

(2) 研究助成委員会

研究助成委員会委員長校名城大学（皆見）より資料(p.5)に基づき第1回委員会

の報告があった。

また、研究助成が再募集中であることの追加報告があった。

(3) 国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員会委員校中京大学（渡辺）より資料(p.5～8)に基づき、委員会、寄贈資料搬送事業、海外派遣研修、海外認定研修(A)(B)、国際図書館シンポジウム等について報告があった。

(4) 協会ホームページ委員会

理事校（中田）より資料（p.8～9）に基づき、委員会、ITアドバイザー委託検討状況、WWW 情報資源提供サービス利用状況報告、業務委託業者作業件数について報告があった。

4. 東海地区協議会総会等

理事校（中田）より資料(p.10～11)に基づき、総会、および第1回常任幹事会について報告があった。

5. 東海地区協議会研究会

研究会運営委員長校愛知大学（中村）より資料(p.12～14)に基づき、運営委員会、各担当者会議、研究会および実務担当者研修会について報告があった。

6. 東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議

図書館管理・運営実務責任者会議幹事校名古屋学院大学（中田）より、資料(p.15)に基づき、運営委員会および会議について報告があった。

7. 東海地区大学図書館協議会

理事校（中田）より資料(p.16～17)に基づき、総会、研究集会の報告があった。総会では、研修会の回数を現行より減らし、研修会と基礎研修を交互に隔年で年1回開催することが決まったとの説明があった。

また、東海地区大学図書館協議会運営委員校南山大学（関谷）より資料(p.16)に基づき、第1回研修会（47名参加）の報告、第2回研修会の案内があった。

[協議事項]

1. 2017年度理事校・役員校について

理事校（中田）より資料(p.18～19)に基づき説明があった。東海地区大学図書館協議会運営委員校は、2016・2017年度は名古屋女子大学が担当し、2017年度に研修会

を開催する予定であったが、前項の東海地区大学図書館協議会の決定により、研修会開催回数が減少したため、担当年度が 2018 年度となった。2018・2019 年度は南山大学が担当予定（研修会担当は当初 2019 年度予定）であるが、南山大学は 2018 年度西地区部会総会会場校と東海地区協議会研究会主幹事校がすでに決まっており、国際図書館協力委員校も依頼されていて負担が大きいため、名古屋女子大学と南山大学の運営委員校担当年度が交替した、また新たに、2017・2018 年度協会賞審査委員校と 2019・2020 年度研究会委員長校を担当する愛知工業大学を常任幹事校としたい、との提案があり、原案を承認した。

2. 2017 年度以降の理事校、役員校等について

理事校（中田）より資料(p.20~23)に基づき説明があった。理事校ローテーションについて、愛知淑徳大学は 2029・2030 年度担当予定であるが、2023・2024 年度以降の私大図協会長校または西地区部会長校のいずれかを担当予定（担当種別・年度は未定）であるので、担当をはずすこととしたいとの提案があり、原案を承認した。

3. 2017 年度以降の東海地区大学図書館協議会役員校等について

理事校（中田）より資料(p.24)に基づき説明があった。前述の東海地区大学図書館協議会運営委員校交替と研修会開催回数減少による研修会開催年度変更のほか、私大図協東海地区協議会研究会の主幹事校については、愛知大学が 2015 年度に臨時に担当しているため、ローテーション一巡後の 2023 年度からの担当は次の愛知医科大学から開始することとする等の提案があり、原案を承認した。

[その他]

1. 2016~2017 年度私立大学図書館協会関係行事予定

理事校（中田）より資料(p.25)に基づき、2016~2017 年度私立大学図書館協会関係行事予定について報告、説明があった。

[懇談事項]

1. 2017 年度西地区部会研究会の発表者について

理事校（中田）より 2017 年度の東海地区協議会からの発表者については、金城学院大学の田中宏樹さんを推薦したとの報告があった。

2. 今後の東海地区協議会の活動および役員校の役割等について

理事校（中田）より別刷り資料に基づき説明があり、懇談した。「館灯」電子化に際しては、目次、規約、名簿はアップロードしないことを確認した。2017 年度研修会については開催回数を減らす方向で考えるが、担当校の新旧交代時に意見を聞き第 3

回常任幹事会に案を出すこととした。今後は負担軽減をするとともに、課題が生じた際の臨時開催や研修の委託等、柔軟に考えていくことが必要等の意見が出た。

また、役員校が全国規模の会議に出席する際の交通費が大きな負担のひとつであるが、会長校、部会長校等には支給されているが理事校や各種委員会委員校等には支給されていないので、引き続き支給を提案してもらうよう要望してほしいとの意見が出された。

以上